

人生の最終段階における医療・ケアのご意向確認

あなたの大切なときを どこでどう過ごしたいですか

(アドバンス・ケア・プランニングのすすめ)

人生の最終段階における医療・ケアは、本人による意思決定を基本として進めることが最も重要な原則ですが、本人の意志が確認できない場合には、本人に代わる者としてご家族さま等とその方針を検討していくこととなります。ご本人だったらどのように望むだろうかと思いを馳せていただきながら、以下につきまして、ご家族さまの現時点でのお考えをお示しください。

グループホームメディフル藤田／メディフル藤田東館

1. 急に体調が悪くなったときや、通常の検査でよくない結果が出た場合に、どのような医療を希望したい（したいであろう）と思いますか

- ☐ 本人に少し負担がかかっても、状態はきちんと知りたいので、詳しい検査を希望する
- ☐ 本人に受けることが難しい検査（心身に負担のかかるような検査）は希望しない

2. 治療することが難しい病気にかかり、死が間近（半年～1年程度）になったとします。そのとき、どのような治療を望みますか

- ☐ 余命が少しでも延びる可能性があるれば、辛さがあろうとも、できるだけの治療を受ける
- ☐ 先ず、治療を受けてみて、耐えることができない辛さがあるようならそこで中止する
- ☐ 最初から、辛い治療は受けずに、苦しみを和らげる治療を受ける

3. 加齢や認知症の進行などによって、食事が口から十分に（安全に）摂れなくなり、このままだと、自然に亡くなるプロセスをたどるであろうと言われました。

そのとき、どのようにしたい（したいであろう）と思いますか

- ☐ 胃ろうや鼻腔栄養等、栄養を確保できる医療処置を行いたい
- ☐ 口から摂取できる範囲で、徐々に衰えていくことを受け入れる

4. 2や3となったとき、どのようにありたいですか（あってもらいたいですか） *複数可

- ☐ 痛みや苦しみが少なく快適に過ごせることを優先する
- ☐ 生きていることに価値を感じられる
- ☐ 喜びにつながることや楽しみがある
- ☐ 1日でも長く生きることを優先する
- ☐ 社会や家（ホーム）で役割が果たせる
- ☐ 他人に弱った姿を見せない
- ☐ 家族や友人と十分に時間を過ごせる
- ☐ 人の迷惑にならない
- ☐ 自宅で過ごす
- ☐ その他（

（裏面へ）

4. 余命があと僅かに至ったときに、肺炎などの呼吸不全をきたして、人工呼吸器をつけていないと数時間の命だという場面になったとします。人工呼吸器をつけても、数時間の命を数日に延ばすだけかもしれないと医療専門家たちが判断した場合、どうしてほしいですか

- ☐ 人工呼吸器の装着を希望する
- ☐ 人工呼吸器の装着を希望しない
- ☐ わからない

5. 人生の最期は、どこで過ごすことを望みますか

- ☐ 人生の最期は、自宅で過ごしたい（自宅で看取りたい）
- ☐ 人生の最期は、病院において可能な医療体制の中で過ごしたい
- ☐ 人生の最期は、グループホームで過ごしたい（指針に沿った看取り介護を希望する）

6. 人生の最終段階における医療・ケアの方針を本人に代わって決定する家族等

代理決定者 続柄（ ）	連絡先
相談する家族等	連絡先

人生の最終段階における医療・ケアについては、主治医より適切な情報や説明をさせていただいた上で、グループホームメディフル藤田におけるご本人が重度化した場合における対応や、看取り介護の指針に定めるとおり、ご本人、ご家族さまの意向に沿い援助させていただきます。

令和7年 月 日

利用者氏名

代理決定者
(身元引受人)

続柄（ ）

☐ 他の家族も同様の考えです

参考

人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン（厚生労働省 H30.3）

岡山市版 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）のすすめ Ver.1（岡山市 H29.6）

終末期の過ごし方～あなたは考えたことがありますか？準備していますか？（東京都健康長寿医療センター研究所）